

11月～12月の りた

時 開催時間 対 参加対象
所 開催場所 申 参加方法
¥ 参加費 持 持ち物
定 定員(選定方法) ● 該当テーマ

むらさきかん 66-3066

マッチング

11/26 食育教室

藤川で栽培した「むらさき麦」を使い、お子さんにも簡単にできるクッキー作りなどを行います。食べ物の「栄養」について、また「地元」についても学ぶことができる食育教室です。

時 10:30～11:30
所 むらさきかん 調理室
¥ 無料 定 20名(先着順)
申 事前にむらさきかんへお申し込みください。

なごみん 66-8251

福祉

11/17 なごみんカレッジ
手話講座～応用編～

岡崎市聾学校の生徒さんを講師に迎え、「交流とマッチング」を目的とした手話講座を開催。毎回、講座内容が替わり手話を楽しく学べ、新しい発見が生まれます。

時 14:00～16:00
所 なごみん3F ホール ¥ 無料
申 事前になごみんへお申し込みください。

やはぎかん 33-3665

マッチング

11/25 やはぎ大楽
(ものづくり講座)

社会福祉法人せききれい彩(さい)の方を講師にまねき、これからの季節にぴったりな「クリスマスリースの飾りつけ」体験講座を開催します。

時 10:00～12:00
所 やはぎかん2F 第3活動室
¥ 700円(キャンセル時は返却なし)
定 15名(先着順)
申 事前にやはぎかんへお申し込みください。

まち育て推進チーム 83-9012

景観

第3回
12/1～12/3 リノベーション
スクール@岡崎

中心市街地にある実際の空き物件を活用した、リノベーション事業計画を全国で活躍するユニットマスター(講師)とともに考え、事業化を目指します。

¥ 10,000円(教材費込)※学生5,000円
定 24名(選考)
申 詳しくは岡崎市ホームページをご覧ください。

市民活動センター 23-3114

マッチング

12/12 【NPO講座】
補助金に頼らない
団体運営セミナー

公益財団法人あいちコミュニティ財団代表理事の木村真樹氏を講師に迎え、NPO法人・任意団体向けに、資金調達の方法を学べる講座を開催します。

時 14:00～16:00
所 図書館交流プラザ りぶら 103会議室
¥ 無料 定 30名(先着順)
申 事前に市民活動センターへお申し込みください。

よりなん 59-3600

マッチング

12/15・17 よりなんサロン

クリスマスバージョンのサロンを開催します。15日は、「ママ&キッズカフェ」による親子向けの読み聞かせ。17日は、「テルミンとギターの演奏会」です。楽しいひと時をお過ごしください。

時 15日 11:00～11:30 17日 13:30～14:00
所 よりなん1F 交流スペース
¥ 無料 申 不要

悠紀の里 57-5050

マッチング

12/17 おやこクリスマス

育児中の親子を応援する市民団体によるクリスマス会です。パパにもできるベビーマッサージ、ママのためのセルフケアのほか、園児にもできる手仕事など、親子向けのプログラムが勢揃いしています。

時 10:00～15:00
所 悠紀の里
¥ 無料 申 不要

りぶらぶらり散歩

～part1～

市民が利用したくなる工夫がいっぱいのりぶら。そんなりぶらの秘密を歩いてめぐります。りぶらまつりならではの特別開催です。

時 Aコース 11月11日 15:00～16:10 りぶらの秘密発見ツアー
Bコース 12日 15:00～15:30 図書館バックヤードツアー
参加費:無料 定員:各20名 集合:りぶら1F お堀通り

～part2～

Cコースは、江戸時代の古地図と現地を見比べながら、城郭北側地域を探検します。Dコースは、商人のまちツアーでは、歴史ある岡崎の城下町・康生町周辺の老舗を巡り、今もまちに息づく伝統文化を探ります。

時 Cコース 18日 10:00～11:30 古地図と巡る岡崎城郭北側ツアー
Dコース 18日 14:00～15:00 商人のまち康生・老舗ツアー
参加費:無料(Dコースは500円※現地払い) 定員:各20名
集合:Cコース りぶら市民活動センター Dコース「Global Studies Café(グローバルスタディーズカフェ)」「(康生北交差点東へ小野印房さん隣)

【お問合せ・申込先】

りぶら市民活動センター TEL 0564-23-3114 FAX 23-3142
※申込は、窓口または電話、ファックスにて事前にお申し込みください。



まちのミカタ

Litaracy

ーりたらしいー

89

2017年11月



特集

～ 「官民」の連携から「民」の自立へ向けて ～
「おとがワ!ンダーランド」2年目の取り組み

さまざまな行為を禁止する規制が多く、思うように使えなかった乙川河川敷。もともと安全や秩序を保つために定められた規制ではありますが、制限事項が多くなることで、河川敷に訪れる人々の機会を減少させ、日常的に水辺を利用する乙川河川敷の原風景を奪っていきました。

桜や花火の時期以外にも、乙川に賑わいある風景を取り戻したい。窮屈な規制を緩和し、公共空間の使い方ルールを明確にしたうえで、利用者の責任のもと公共空間を自由に

使いこなしていく。そんな豊かな水辺空間での日常が、近い将来に生まれることを目指す社会実験「おとがワ!ンダーランド」が、昨年度より乙川を舞台に行われています。

今年度は期間中(2017年7月20日～2018年1月31日)の毎月第一水曜日(1月は除く)にプログラム実施を検討中の方を対象とした説明会を開催。

乙川河川敷を舞台に、数々のプログラムが定期的に行われています。

特集

担い手とともに、にぎわいの定常化を目指す2年目

●「おとがワ！ンダーランド2017」の取り組み

「おとがワ！ンダーランド」は市民の自由と責任のもと、乙川をより魅力的な場所へ変えていくための社会実験プロジェクトとして、「岡崎市」と「乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会」が主催しています。

2年目となる今年は、水辺を活用する担い手の発掘に加え、民間が自立して乙川河川敷を運用していくための体制の検討(担い手の育成)を目的に、殿橋から名鉄鉄橋までを実施エリアとして【7月20日～1月31日】の期間中、一般公募で選ばれたプログラムを順次、開催しています。

具体的なプログラムとしては、SUP・スケートボード等といったアクティビティや、観光船の運行、星空観望、自転車教室、アウトドアオフィス、キャンプ、ワークショップ等の体験型プログラムなど。また、第1・3土曜日の朝市、第2土曜日のリパークリン、第4土曜日のナイトマーケットといった「定期プログラム」も加わり、季節を通して乙川の風景をつくりだすプログラムを実施していきます。



▲第1・3土曜日の朝市



▲クルワスロン



▲星空観望会

●水辺の拠点となる「殿橋テラス」

昨年度、おとがワ！ンダーランドの一環として殿橋のたもとに実験的に設置し、好評だった「殿橋テラス」が9月23日～11月26日の期間に営業しています。

今年度は、収益事業による事業継続性の検証に加え、かわまちづくりの情報発信拠点としての役割も備えています。また、水辺を活用する担い手との連携をはかりながら、今後の河川敷活用の核となる事業をつくりだしていく「コンテンツマネジメント」を運営事業者の新たな役割として課し、一般公募により運営事業者の選定を行いました。テラスの常設設置と民間事業者により自立した公共空間活用の実現に向け、一歩ずつ前進させていきます。



▲殿橋テラス

●民間による自律的な運営、マネジメント体制の構築に向けて

今後は、社会実験の成果や課題の整理を行いながら、水辺を活用する担い手の方々とともに、公共空間の自立した運営体制の検討に入っていきます。一過性の賑わいづくりに留まらず、乙川の定常的な賑わいを生み出す仕組みへとつなげるべく、今後も検討を重ねていきます。



▲第1回プロジェクトミーティングの様子

[おとがワ！ンダーランド 2017年度実施プログラム募集!]

乙川を舞台に自ら楽しみ、まちに楽しさの輪を広げていくプログラムを募集します。

問い合わせ先 おとがワ！ンダーランド実行委員会 事務局

☎ 070-5337-0367 ✉ info@otogawonderland.jp

※最新情報は公式Facebookページより、ご確認ください >> <https://www.facebook.com/otogawonderland/>

9月～10月のりた

市民活動センター 9/5

第4回 岡崎 NPOコラボひろば



マッチング

市内で活動をしている個人、団体が集まり、情報交換会を開催。今回は、多世代交流を目的としたサロンを運営している「和っ家(わっか)」さんに活動発表をしていただきました。活発な情報交換会となりました。

むらさきかん 9/10

むらさきかんフェスタ



マッチング

市民との交流の場として、市民活動団体による舞台発表や親子工作などの体験ブースや東日本・熊本復興の商品や手づくり品などの販売、展示を実施。今年、46団体(個人)の方に運営協力をしていただきました。

まち育て推進チーム 9/12

リノベーション まちづくりフォーラム



景観

岡崎で行われているリノベーションまちづくりについて紹介したほか、北九州の小倉から嶋田秀範氏を招き、シャッター街だったまちをどのように再生したのかについてお話を伺いました。

悠紀の里 9/24～10/15

みんなのむつみ展



マッチング

六ツ美を題材にした写真や絵画などを市民から募集し、その作品の展示会を開催しました。「六ツ美らしさ」をテーマに選ぶ「むつみ賞」と、「好きな作品」をテーマに選ぶ「みんな賞」が来館者の投票によって贈られました。

○むつみ賞…焼き絵を楽しむ会 『六ツ美の今昔物語』(焼き絵)
○みんな賞…杉浦康史 『稲刈り／ふれあい夏祭り』(絵画)

悠紀の里 10/1・15

ゆき収穫祭



マッチング

悠紀斎田でのびのび育ったお米を収穫し、昔の道具を使用する脱穀などの収穫体験をメインに、バルーンアートやクイズ、体操など幅広い分野の体験企画も開催。公益活動をしている団体と市民の交流イベントとなりました。

やはぎかん 10/15

景観



長瀬の里 なぞときウォーク

矢作北学区総代会と連携し、矢作北学区の歴史をなぞとき形式で巡るまち歩きを実施。天候の関係で、長瀬八幡宮の例大祭の見学は中止となりましたが、願照寺を中心とした学区の歴史を学ぶ機会となりました。

悠紀の里 8/20

景観



むつみ語り合いカフェ

本事業は地域の魅力づくりや課題解決に取り組む人材育成を目的に、自分の住むまち「六ツ美」について語り合うイベントとして開催いたしました。当日は地域総代や中学生など、総勢55名が参加。

テーブルを六ツ美の「いいとこ」・「気になるとこ」・「新しい魅力」の3つのテーマに分け、時間を区切りながら全員が各テーブルを移動し、語り合いを行いました。また、事前研修を受けた地域の方にテーブルコーディネーターとして入っていただき、意見のとりまとめや発表をしていただきました。六ツ美では今回初めて、カフェにのような雰囲気自由な対話を促す「ワールド・カフェ形式」を取り入れました。ドリンクを片手にリラックスした語り合いは盛況のうちに幕をとり、「わが町、六ツ美を再認識する場になった」「自分の知らないことをたくさん知れた」など、立場や世代を超えたさまざまな意見や感想が寄せられました。

まち育て推進チーム 9/30 おとがわプロジェクトフォーラム

景観



2015年度から2020年度までの5年計画で始まり、主要回遊路線「QRUWA(くるわ)」を中心として、エリアの再生を図ってきた「おとがわプロジェクト」。

今回は、これまでの取り組みと10月28日に開催する社会実験「めぐる、QRUWA」の概要について、専門家による講演とパネルディスカッションを実施しました。専門家の西村浩氏による講演では、かつての人口が増加し続ける時代とは価値観や世相が異なる現代において、まちで暮らす一人ひとりの発想の転換や新しいライフスタイルの実践が必要とされていること、やってみて、確かめることの重要性が語られました。今回の社会実験は一過性のイベント(=非日常)ではなく、未来の「日常」を作り出すため実験の場。西村氏は、「社会実験は続けていくことが大事であり、続けていく状況を生み出すというのが大事。そういうところを目指してより多くの人に参加してもらえよう一日になってほしい」と訴えました。また、28日当日の市民提案プログラムの内容が開示され、来る社会実験に向けて期待が高まる1日となりました。